



2026年8月26日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

15,622万kW

15時30分、156,223 MW
(10エリア同時刻合計)

☀ 太陽光ピーク

4,461万kW

11時30分、44,607 MW
(自家消費分除く)

≈ 風力ピーク

141万kW

0時30分、1,411 MW

◇ 再エネ最大需要比

35.8%

11時30分、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア

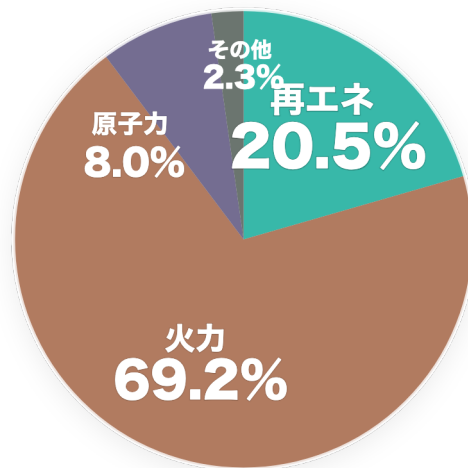
東京

135 GWh

↔ 最大送電エリア

東北

117 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 40.4%

33.5 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

74.3 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、16:00に5,227万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで40.4%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	20.5%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	632 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力 量	3,076 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	35.8%	11時30分
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電 の充電	74.3 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	40.4%	33.5	0.0	送電 4.8
東北	26.1%	95.3	0.0	送電 117
東京	16.0%	144	0.0	受電 135
中部	22.3%	100	0.0	受電 23.5
北陸	26.8%	21.8	0.0	受電 9.6
関西	14.9%	68.4	0.0	受電 58.3
中国	21.9%	51.4	0.0	送電 21.3
四国	24.5%	29.3	0.0	送電 29.4
九州	24.2%	86.1	0.0	送電 35.9
沖縄	6.9%	1.9	0.0	—



2026年8月26日の供給実績

北海道エリア

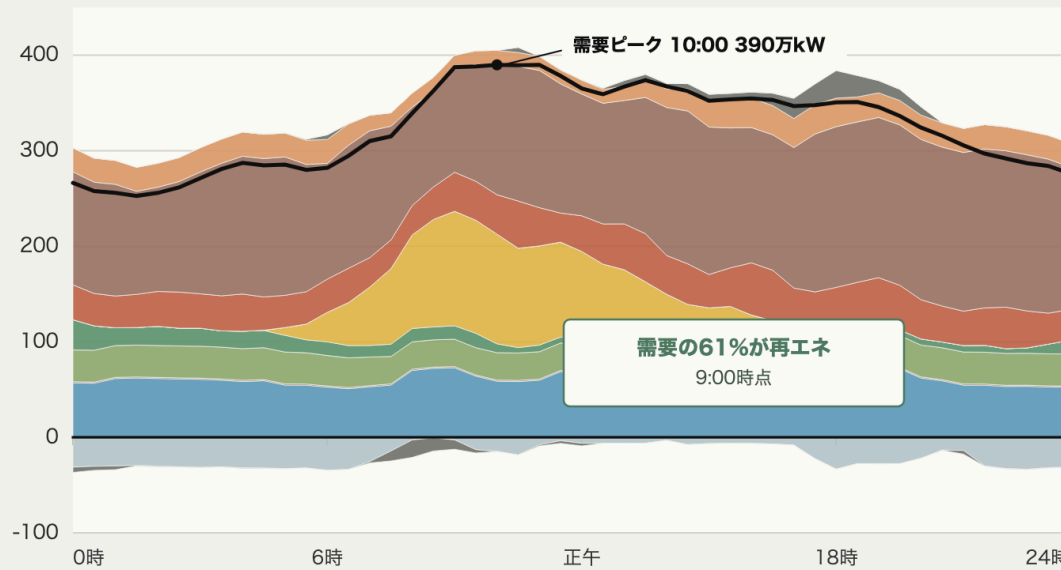
再エネ

33.5GWh

(発電電力量ベース40.4%)

北海道エリア 2026年8月26日の供給実績（残余需要方式）

万kW



発電構成比

総発電電力量: 83GWh

(829万kW)

再エネ	33.5GWh (40.4%)
太陽光	8.3GWh (10.0%)
水力	14.7GWh (17.7%)
風力	2.6GWh (3.1%)
バイオマス	7.6GWh (9.2%)
地熱	0.3GWh (0.3%)
LNG火力	9.4GWh (11.3%)
石炭火力	33.6GWh (40.5%)
石油等火力	5.5GWh (6.6%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	1.0GWh (1.2%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

82.9GWh

需要ピーク

10:00、390万kW

連系線・その他

4.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク120万kW、風力ピーク32万kWで、時間別の再エネ最大需要比は62.9%だった。



2026年8月26日の供給実績

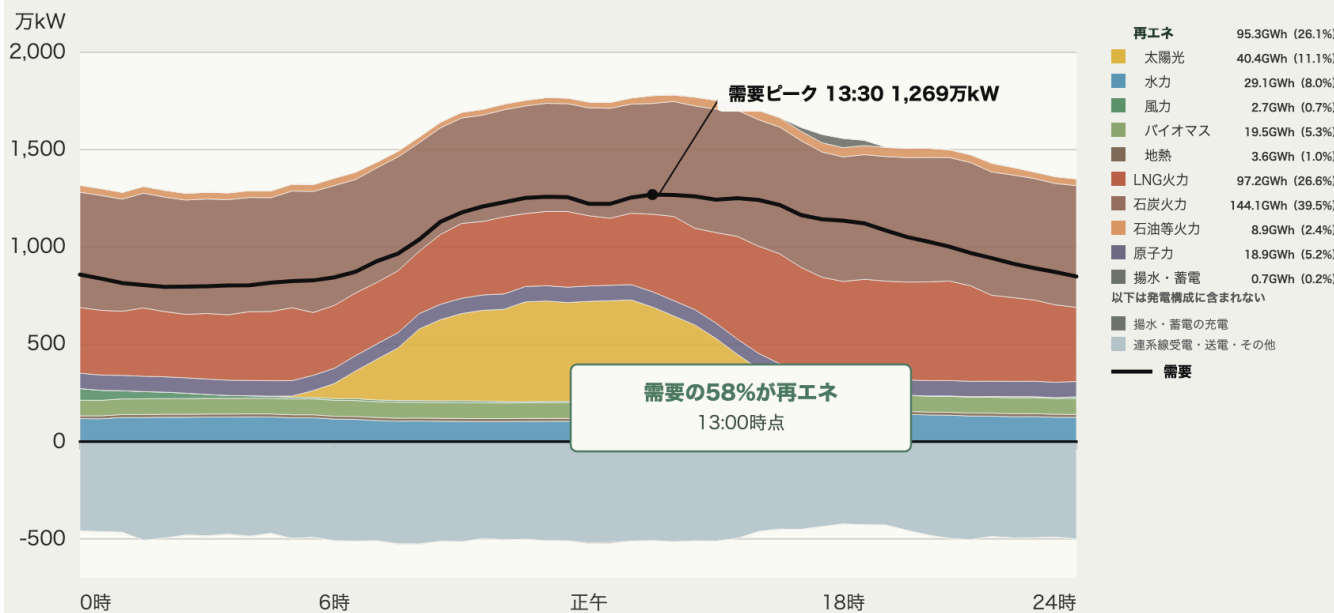
東北エリア

再エネ

95.3GWh

(発電電力量ベース26.1%)

東北エリア 2026年8月26日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

365.2GWh

需要ピーク

13:30、1,269kW

連系線・その他

117.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク516kW、風力ピーク60kWで、時間別の再エネ最大需要比は59.3%だった。



2026年8月26日の供給実績

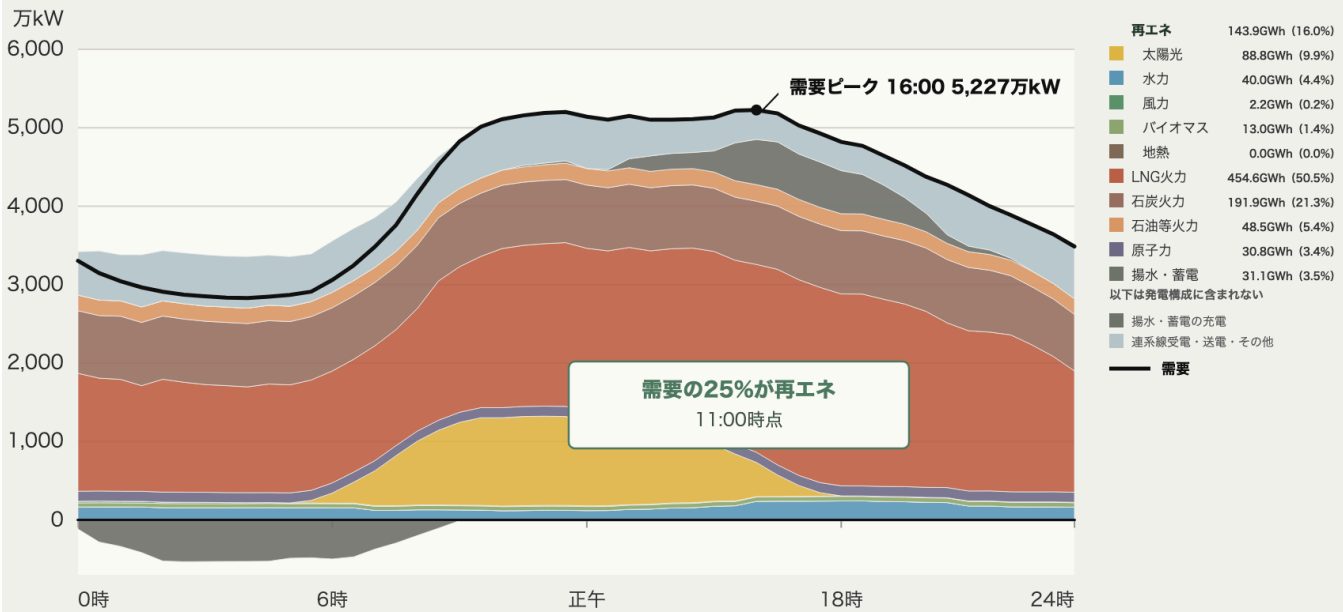
東京エリア

再エネ

143.9GWh

(発電電力量ベース16.0%)

東京エリア 2026年8月26日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

900.9GWh

需要ピーク

16:00、5,227kW

連系線・その他

134.7GWhの受電

揚水・蓄電の充電

36.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク1,137kW、風力ピーク22kWで、時間別の再エネ最大需要比は26.0%だった。



2026年8月26日の供給実績

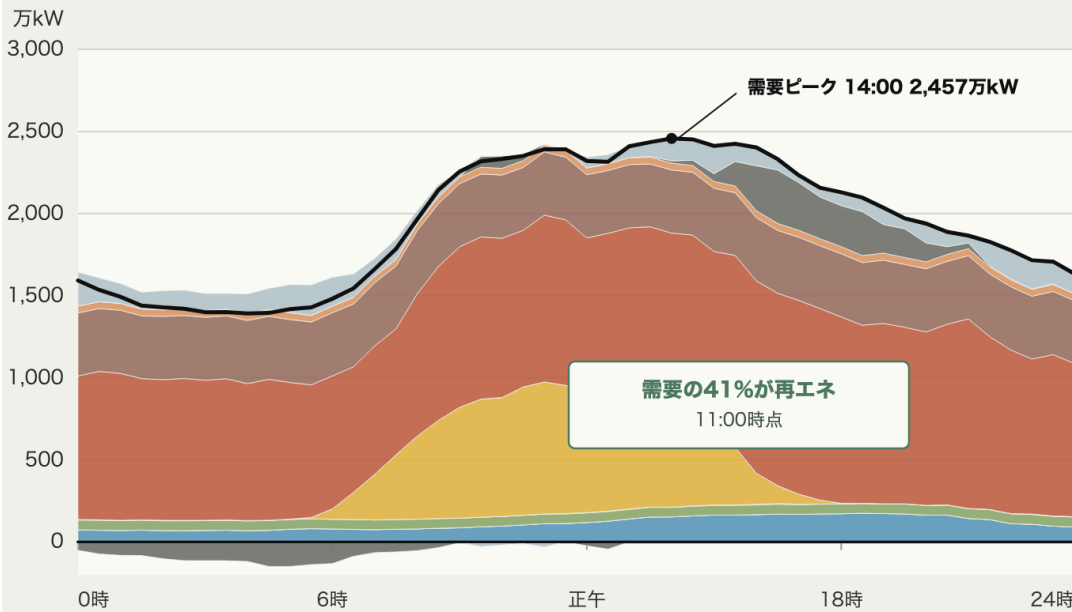
中部エリア

再エネ

100.2GWh

(発電電力量ベース22.3%)

中部エリア 2026年8月26日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 450GWh

(4,499万kWh)

再エネ	100.2GWh (22.3%)
太陽光	58.1GWh (12.9%)
水力	27.5GWh (6.1%)
風力	0.4GWh (0.1%)
バイオマス	14.2GWh (3.1%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	234.3GWh (52.1%)
石炭火力	92.1GWh (20.5%)
石油等火力	10.0GWh (2.2%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	13.3GWh (3.0%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

449.9GWh

需要ピーク

14:00、2,457万kW

連系線・その他

24.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電

8.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク803万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は40.7%だった。



2026年8月26日の供給実績

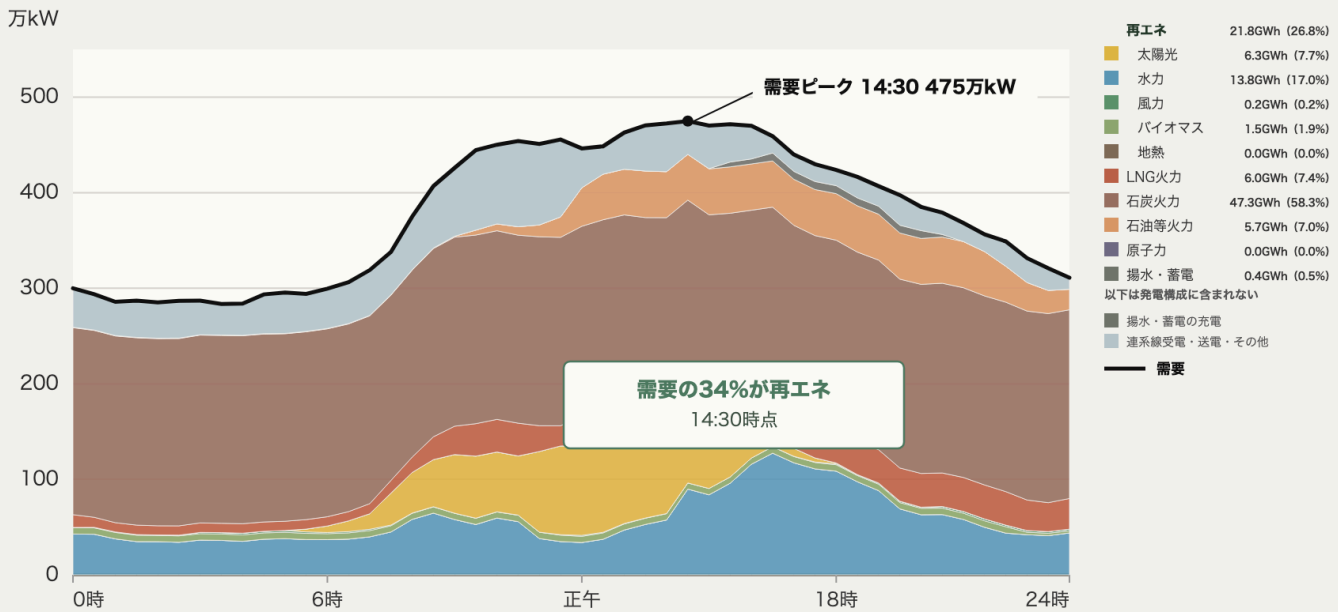
北陸エリア

再エネ

21.8GWh

(発電電力量ベース26.8%)

北陸エリア 2026年8月26日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

81.2GWh

需要ピーク

14:30、475万kW

連系線・その他

9.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク94万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は34.4%だった。



2026年8月26日の供給実績

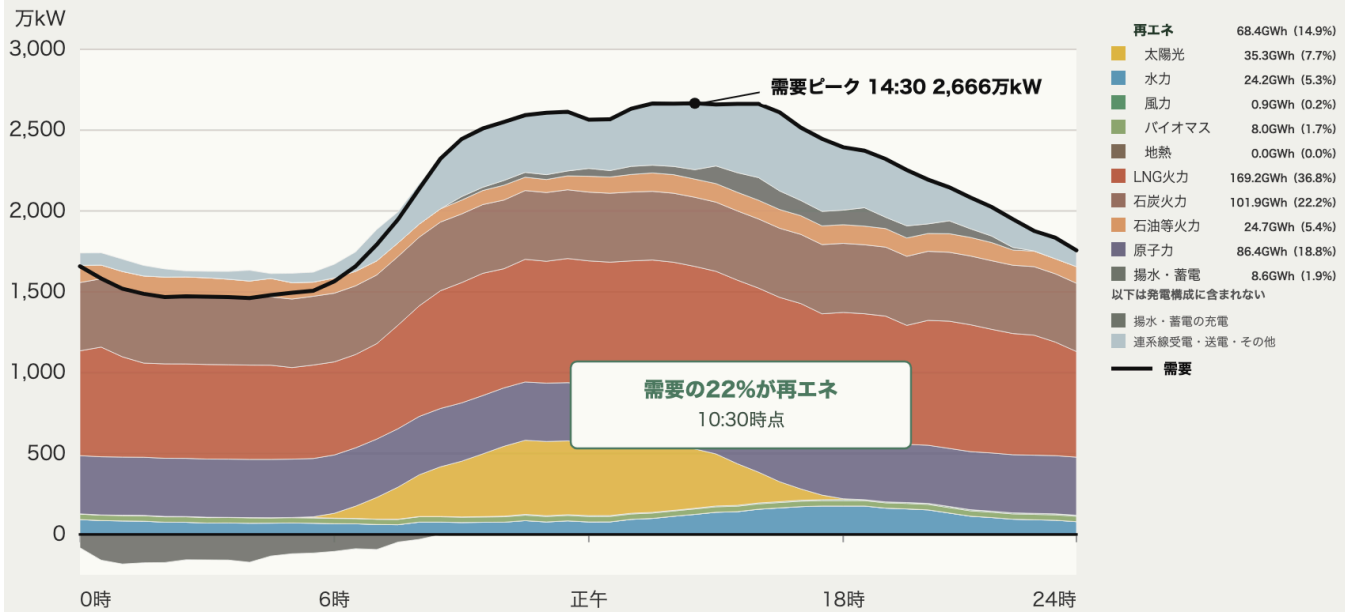
関西エリア

再エネ

68.4GWh

(発電電力量ベース14.9%)

関西エリア 2026年8月26日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

459.2GWh

需要ピーク

14:30、2,666万kW

連系線・その他

58.3GWhの受電

揚水・蓄電の充電

10.8GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク460万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は22.5%だった。



2026年8月26日の供給実績

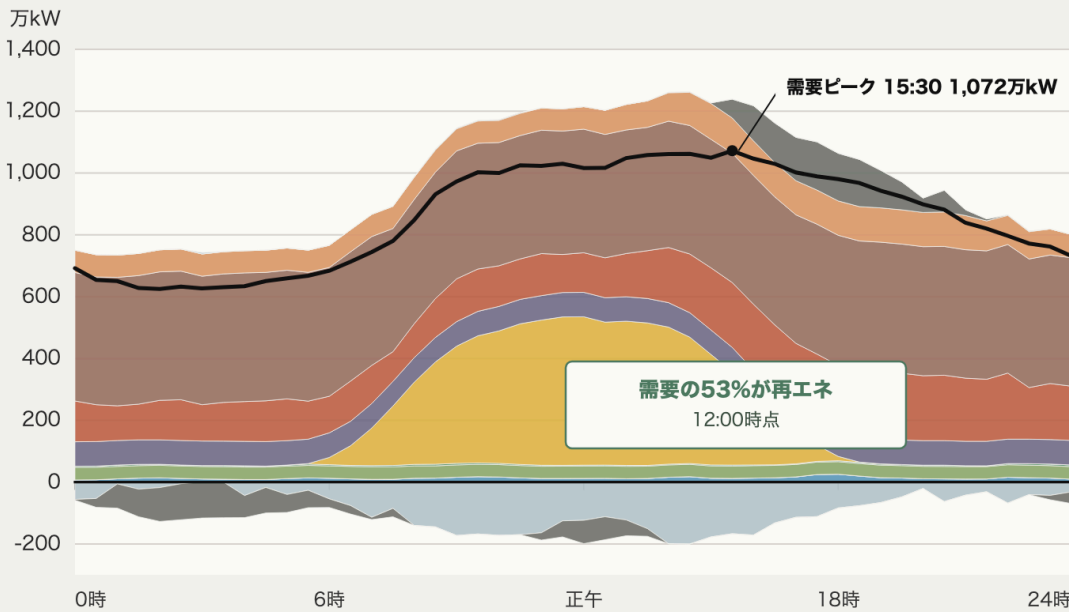
中国エリア

再エネ

51.4GWh

(発電電力量ベース21.9%)

中国エリア 2026年8月26日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 234GWh

(2,345万kW)

再エネ	51.4GWh (21.9%)
太陽光	37.8GWh (16.1%)
水力	3.1GWh (1.3%)
風力	0.9GWh (0.4%)
バイオマス	9.7GWh (4.1%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	38.1GWh (16.2%)
石炭火力	99.0GWh (42.2%)
石油等火力	20.6GWh (8.8%)
原子力	19.0GWh (8.1%)
揚水・蓄電	6.4GWh (2.7%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

234.5GWh

需要ピーク

15:30、1,072万kW

連系線・その他

21.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

6.8GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク480万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は52.7%だった。



2026年8月26日の供給実績

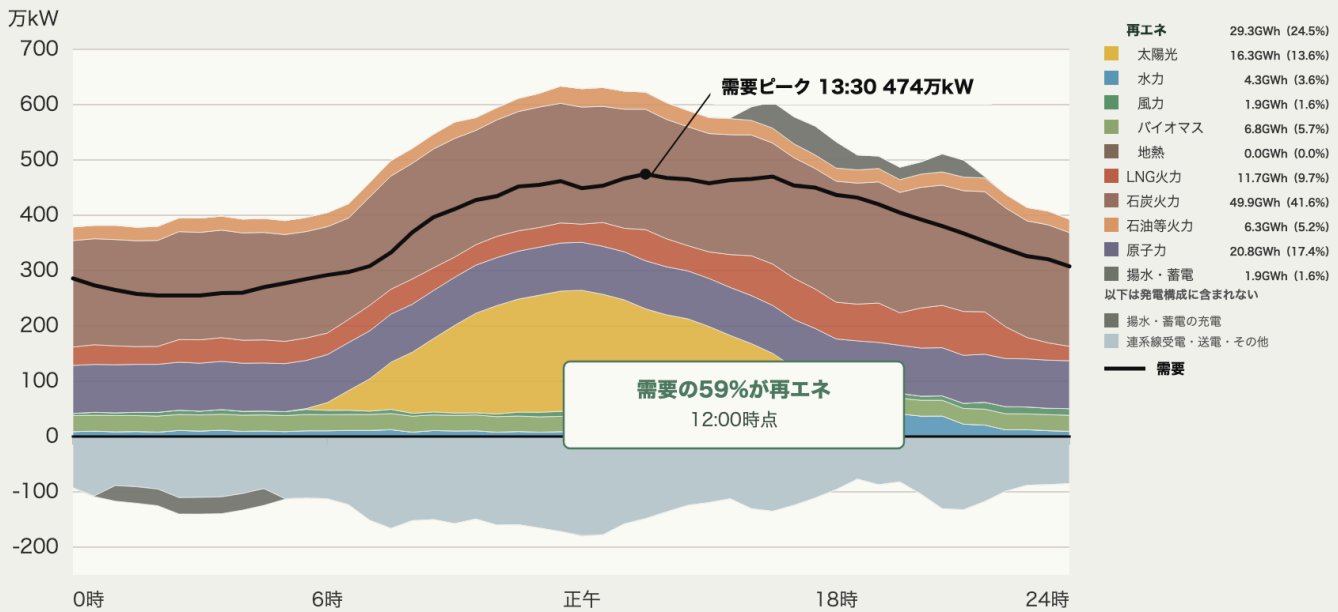
四国エリア

再エネ

29.3GWh

(発電電力量ベース24.5%)

四国エリア 2026年8月26日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

119.9GWh

需要ピーク

13:30、474万kW

連系線・その他

29.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク220万kW、風力ピーク13万kWで、時間別の再エネ最大需要比は58.9%だった。



2026年8月26日の供給実績

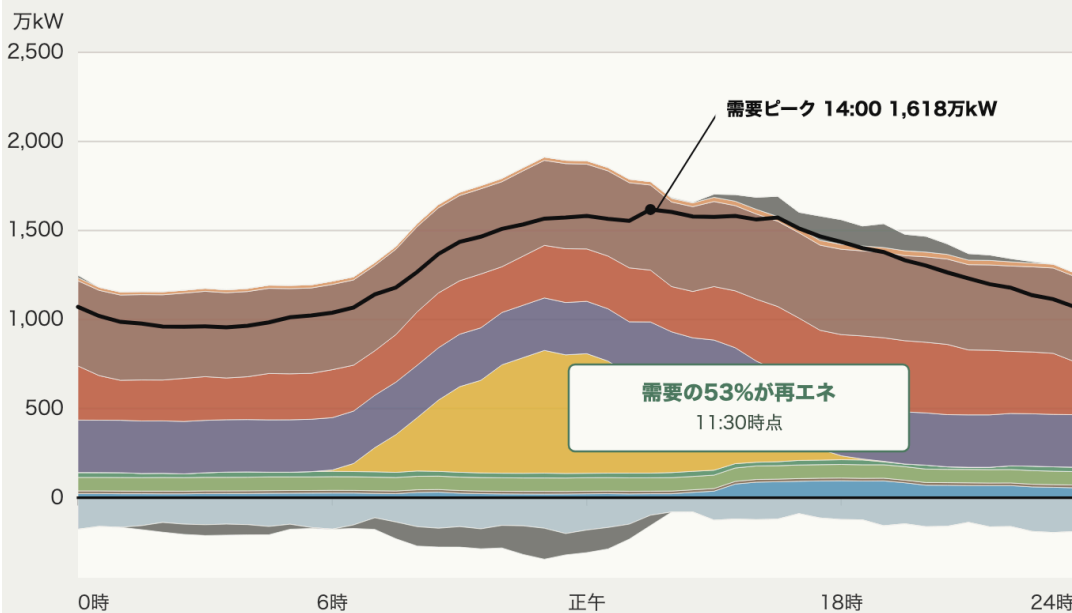
九州エリア

再エネ

86.1GWh

(発電電力量ベース24.2%)

九州エリア 2026年8月26日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 355GWh
(3,552万kWh)

再エネ	86.1GWh (24.2%)
太陽光	48.0GWh (13.5%)
水力	10.3GWh (2.9%)
風力	6.0GWh (1.7%)
バイオマス	18.2GWh (5.1%)
地熱	3.5GWh (1.0%)
LNG火力	72.8GWh (20.5%)
石炭火力	114.8GWh (32.3%)
石油等火力	5.0GWh (1.4%)
原子力	70.5GWh (19.9%)
揚水・蓄電	6.0GWh (1.7%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

355.2GWh

需要ピーク

14:00、1,618万kW

連系線・その他

35.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電

9.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク689万kW、風力ピーク30万kWで、時間別の再エネ最大需要比は52.8%だった。



2026年8月26日の供給実績

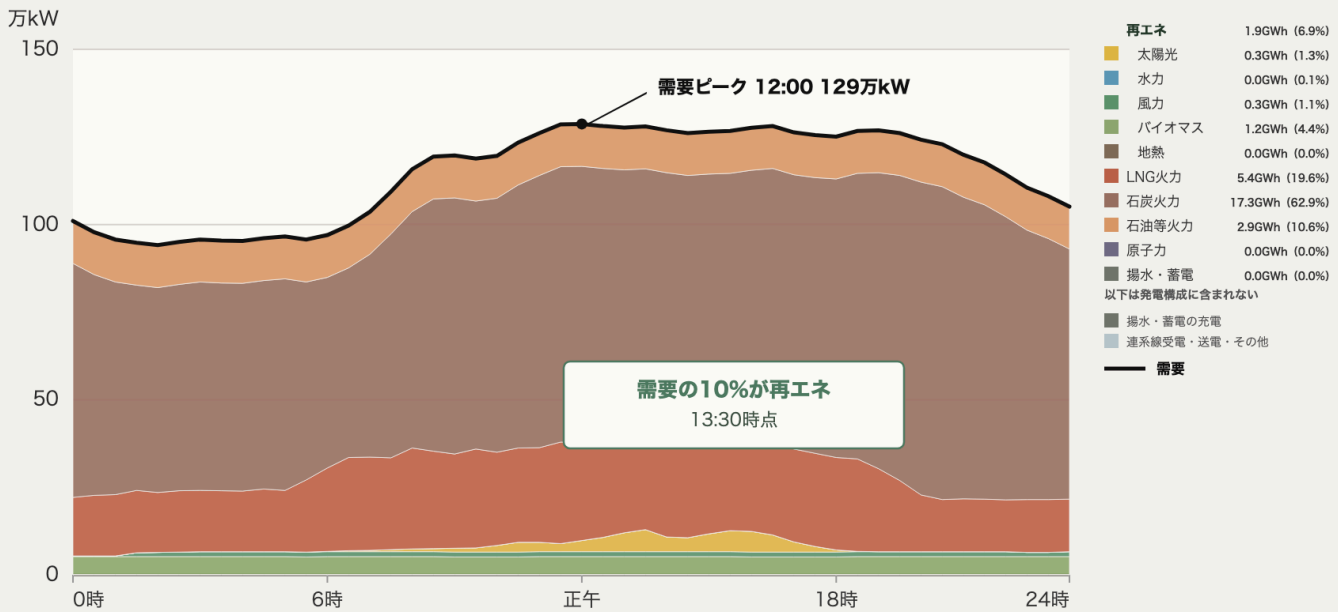
沖縄エリア

再エネ

1.9GWh

(発電電力量ベース6.9%)

沖縄エリア 2026年8月26日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

27.4GWh

需要ピーク

12:00、129万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク6万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は10.1%だった。